

環境経営レポート

(対象期間: 2020年4月1日 ~ 2021年3月31日)



地球の恵みを、社会の望みに。



エアウォーター物流株式会社

作成日: 2021年8月20日

目 次

項 目	ページ
エア・ウォーターグループの環境基本方針	3
環境経営方針	4
組織の概要	5
営業拠点一覧	6
許可一覧(産業廃棄物、特別産業廃棄物収集運搬)	7
産業廃棄物収集運搬車両 産業廃棄物処理実績(令和1年度)	8
積み替え保管施設及び保管場所一覧	9 10
環境経営組織及び役割・責任・権限表	11
主な環境負荷の実績	12
環境経営目標及びその実績	12
環境経営計画の取組結果とその評価	13
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟の有無	16
代表者による全体の評価と見直し・指示	17

□環境経営方針

(1)エア・ウォーターグループの環境基本方針

経営理念

創業者精神を持って
空気、水、そして地球にかかわる
事業の創造と発展に、英知を結集する

エア・ウォーターグループの事業の原点は、社名に冠した「空気」と「水」です。
このかけがえのない地球の資源を生かして、私たちは事業を創出し、社会や人々の暮らしに貢献しています。
目まぐるしく変化を続ける経営環境の中で、今後もグループの総合力を発揮し、
お客様や社会が抱える課題の解決に立ち向かい、新たな価値の創造に挑戦し続けていきます。

<エア・ウォーターグループ環境基本方針>

- ①研究・開発、生産、販売、物流、サービスにいたる企業活動の全てにおいて環境汚染、地球温暖化対策（気候変動の緩和策と適応策）、資源の有効活用、及び化学物質リスク低減の課題に取り組みます。
- ②企業活動によって生じる環境への影響を調査・検討し、技術的、経済的に達成可能な環境負荷を低減する目標を定め、環境活動を推進すると共に、環境管理の仕組みに対して継続的な改善を図ります。
- ③環境関連の法律・規制を遵守します。必要に応じて自主基準を制定し、環境保全に努めます。
- ④企業活動に必要な資源（設備、原材料、副資材、部品など）等、技術、経済的要求を満足し、併せて環境負荷が小さく、地域住民、従業員への影響が少ないものを選択します。
- ⑤研究・開発においては環境、安全、品質に考慮して、環境に貢献する製品、商品の提供および技術開発を行います。
- ⑥環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証取得を推進し、環境基本方針を実行する体制を構築します。
- ⑦社内広報活動などにより、全従業員に環境基本方針の理解と意識の向上を図ります。この環境基本方針は一般に公開します。

(2)エア・ウォーター物流株式会社の環境経営方針

環境経営方針

弊社は、北海道内を中心に40の事業所を有し、シャーシ輸送・高圧輸送・特殊輸送の運輸事業、血漿輸送・NAT検体輸送、産業廃棄物・リサイクルのエキスパート事業、物流センターとしての食品物流事業、流通センター・トランクルーム・引越しの流通事業を経営しており、これらの事業に伴って消費する電力及び化石燃料並びに水の使用に伴う排水による環境負荷が最大の要因と考え、環境マネジメントシステムに取り組んで、環境関連法規及び地域社会のルールを遵守し、全従業員が協力して次の事項を推進します。

記

1. 電力・化石燃料の使用量を抑制し、CO2排出量の削減に努めます。
2. 廃棄物排出量抑制・リサイクルを進め、排水の環境保全に努めます。
3. 自動車排ガスによる環境汚染を防止する対策を計画的に推進します。
4. 可能な範囲で自主基準を定め管理の向上に努めます。
5. 従業員及び関係者に対して環境に関する知識の普及啓発に努めます。
6. 環境経営活動レポートを定期的に作成・公表し環境コミュニケーションに取り組みます。

以上

平成18年4月1日 制定
平成30年7月1日 改訂

エア・ウォーター物流株式会社
代表取締役社長

向 出 敏 行

□組織の概要

更新日：2020年4月1日

(1) 名称及び代表者名

エア・ウォーター物流株式会社
代表取締役社長 向出 敏行

(2) 所在地、設立、資本金

本店 〒060-0003
北海道札幌市中央区北3条西1丁目2番地（登記上）
本社 〒062-0052
北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号

設立 昭和37年5月12日
資本金 1億7,750万円

事業年度 自：4月1日 至：3月31日
従業員数 998人（令和3年3月31日）
売上高 3,155,116万円（2020年4月1日～2021年3月31日）

(3) 事業内容

- 1) 貨物自動車運送事業
- 2) 自動車運送取扱業
- 3) 自動車分解整備事業
- 4) 倉庫業
- 5) 物流システムコンサルティング
- 6) 低・定温輸送システムによる血漿・医薬品輸送システム
- 7) 流通加工サービス業
- 8) 引越しに関する業務全般
- 9) 産業廃棄物の収集、処理事業
- 10) 飼料、肥料の販売及び、製造加工並びに製造加工の請負
- 11) 各種機械設置工事の請負

拠点数 本社（業務センター）7支店 32拠点

(4) エコアクション21推進責任者 エキスパート事業部長 大戸 英樹

(5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 エキスパート事業部 竹重 守 TEL：011-859-5301
E-mail: takeshige-mam@awi.co.jp FAX：011-859-5311

(6) 事業活動（認証登録範囲）

運輸・倉庫並びに産業廃棄物及び特別産業廃棄物処理（収集運搬）業

(7) 環境経営レポート発行：令和3年8月1日

対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

□営業拠点一覧(令和3年3月31日現在)

事業所名	郵便番号	住 所	床面積(m ²)	従業員数
■本社	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	510.00	45
経営管理本部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号		
安全推進本部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号		
営業本部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号		
事業推進部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号		
3PL事業部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号		
運輸事業部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号		
エキスパート事業部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号		
監査室	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号		
内部統制室	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号		
■札幌支店	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目779番地	22,451.17	169
区域営業所	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目779番地	2,389.12	26
札幌・石狩ガス営業所	061-1274	北海道北広島市大曲工業団地7丁目3番地2	109.12	61
発寒営業所	063-0835	北海道札幌市西区発寒15条13丁目2番30号		13
小樽営業所	048-2671	北海道小樽市オタモナイ1丁目4番16号		4
札幌流通センター	003-0871	北海道札幌市白石区米里1条2丁目13番1号		29
流通加工センター	003-0871	北海道札幌市白石区米里1条3丁目5番1号	4,425.00	6
石狩流通センター	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目779番地	15,527.93	30
■低温食品支店(第一支店)		北海道札幌市白石区流通センター5丁目5番50	72,525.52	244
白石(厚別)営業所	003-0030	北海道札幌市白石区流通センター5丁目5番50号	46,593.36	78
江別営業所	067-0051	北海道江別市工栄町19番地8	17,990.60	53
十勝営業所	080-0104	北海道河東郡音更町新通20丁目3番地	2,676.66	29
北見営業所	099-2103	北海道北見市端野町三区367番地5		14
YB営業所	061-3241	北海道石狩市新港西2丁目770番地1	3,854.83	64
YB関西センター	569-0063	大阪府高槻市南庄所町23番地1号	1,410.07	6
■常温食品支店(第二支店)		北海道北広島市大曲工業団地7丁目2番地2	17,179.80	63
大曲営業所	061-1274	北海道北広島市大曲工業団地7丁目2番地2	17,179.80	51
千歳物流センター	066-0044	千歳市平和1006番1373		12
■旭川支店・旭川営業所	078-8253	北海道旭川市東旭川北3条6丁目4番10号	7,697.34	113
滝川営業所	073-0001	北海道滝川市北滝の川1344番地32	2,142.37	22
稚内営業所	098-6642	北海道稚内市声問4丁目18番22号	1,028.23	18
■帯広支店・帯広営業所	082-0005	北海道河西郡芽室町東芽室基線5番地7	9,325.28	147
釧路営業所	088-0606	北海道釧路郡釧路町中央5丁目3番地	2,505.20	41
中標津営業所	086-1144	北海道標津郡中標津町東当幌17番地8	1,603.80	7
美幌営業所	092-0001	北海道網走郡美幌町字高野104番地27	1,306.20	27
紋別営業所	094-0023	北海道紋別市元紋別63番地		4
■苫小牧支店・苫小牧ローリー営業所・苫小牧区域営業所	053-0055	北海道苫小牧市新明町1丁目4番16号	6,036.63	181
沼の端営業所	059-1364	北海道苫小牧市字沼ノ端2番地77	51.84	57
室蘭営業所	050-0063	北海道室蘭市港北町1丁目25番地35	320.12	37
函館営業所	041-0822	北海道函館市亀田港町63番4号	278.65	35
苫小牧飼料センター	053-0002	北海道苫小牧市晴海町43番地46	46.02	8
■エキスパート事業部	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番6号	2,995.20	36
札幌環境営業所	067-0051	北海道江別市工栄町25番地11	2,113.20	23
BT千歳センター	066-0051	北海道千歳市泉沢1007番地58	882.00	13
			138,721	998人

□産業廃棄物収集運搬車両

総数	形状	キャブオーバ	現金輸送車	トラクタ	バン	保温車	冷蔵冷凍車	セミトレーラ
326		130	2	22	9	1	18	144
積載重量	4t未満	34	2		4		10	
	4t～10t未満	24					7	
	10t以上	72			5		1	
	18t～20t未満							32
	20t～23t未満							112
	30t～39t			22				
型式	ADG	4		2			1	
	ADF		1		1			
	BDG	15					1	
	BKG	8		3			1	
	KC	35		4			2	
	KJ				1			
	KK	21	1		1		3	
	KL	15		3	1		2	
	KS	3		3				
	LKG	4		2				
	PA					1		
	PB	4			1		2	
	PDG	4					1	
	PKG	4		1	1		1	
	PJ			2	2		1	
	QCG	2						
	QKC	2						
	QKG	6		2	1		1	
	TKG							2
	U	3						
メーカー	ニッサンディーゼル	15		5	2		4	
	日野	60		9	1		6	2
	いすゞ	12		4	2	1	5	
	三菱	42		4	2		3	
	ベント	1						
	トヨタ		2		2			
	東急							91
	トレールモービル							21
	トレクス							12
	フルハーフ							17
	ユソーキ							1

□産業廃棄物処理実績(令和2年度)

産業廃棄物	種類	重量(t)	特別管理	種類			
				種類	重量(t)		
産業廃棄物	燃え殻	5.07	産業廃棄物	引火性廃油	327.94		
	汚泥	1044.90		引火性廃油(有害)	90.26		
	廃油	143.77		強酸	21.15		
	廃酸	6.80		強酸(有害)	2824.51		
	廃アルカリ	103.84		強アルカリ	6.42		
	廃プラスチック類	8025.08		強アルカリ(有害)	10.65		
	紙くず	572.82		PCB等	4253.32		
	木くず	319.28		廃油(有害)	207.40		
	動物性残差	17152.93		汚泥(有害)	2.67		
	ゴムくず	32537.67		廃酸(有害)	101.99		
	金属くず	0.00		廃アルカリ(有害)	49.34		
	ガラス陶磁器くず	701.57		感染性廃棄物	44.88		
	鋳さい	656.20		水銀	890.33		
	がれき	938.30		合計	8,830.84		
	合計	62,208.24		処理量総合計	71,039.07		
					家電リサイクル取扱量(台)	39,390	

□積み替え保管施設及び保管場所一覧

1 積み替え保管施設

事業所名	所在地	区域	許可の種類	保管面積㎡
札幌環境営業所	北海道江別市工栄町25番地11	北海道	産廃 プ・金・カ・コン・油・酸・ア・泥	84.00
			特管 酸・泥・ア・油・感・銀	264.0
旭川営業所	北海道旭川市東旭川北3条6丁目4番	北海道	産廃 燃・泥・酸・ア・プ・金・ガ・コン・油・紙	31.02
			特管 酸・泥・油・ア・感	43.65
稚内営業所	北海道稚内市声問4丁目18番22号	北海道	産廃 プ・金・ガ・コン・酸・ア	4.32
			特管 酸・ア・感・泥	17.754
美幌営業所	北海道網走郡美幌町字高野104番地	北海道	産廃 プ・金・ガ・コン・酸・ア	149.36
			特管 酸・ア	10.0
釧路営業所	北海道釧路郡釧路町中央5丁目3番地	北海道	産廃 プ・金・ガ・コン	4.02
			特管 酸・ア・感・泥・油	21.00
帯広営業所	北海道河西郡芽室町東芽室基線5番	北海道	産廃 プ・金・ガ・油・酸・ア・泥・燃・石	24.24
			特管 酸・ア・感・泥	19.00
苫小牧営業所	北海道苫小牧市あけぼの町1丁目5番	北海道	産廃	
			特管 酸・ア	147.0
室蘭営業所	北海道室蘭市港北町1丁目25番35号	北海道	産廃	
			特管 酸・ア	6.30

※プ:廃プラスチック、金:金属くず、ガ:がれき類、コン:コンクリートくず、油:廃油、紙:紙くず、酸・ア:廃酸・廃アルカリ、泥:汚泥、感:感染性廃棄物、銀:水銀含有廃棄物、石:石綿含有廃棄物

2 収集運搬 産業廃棄物積み替え保管場所一覧

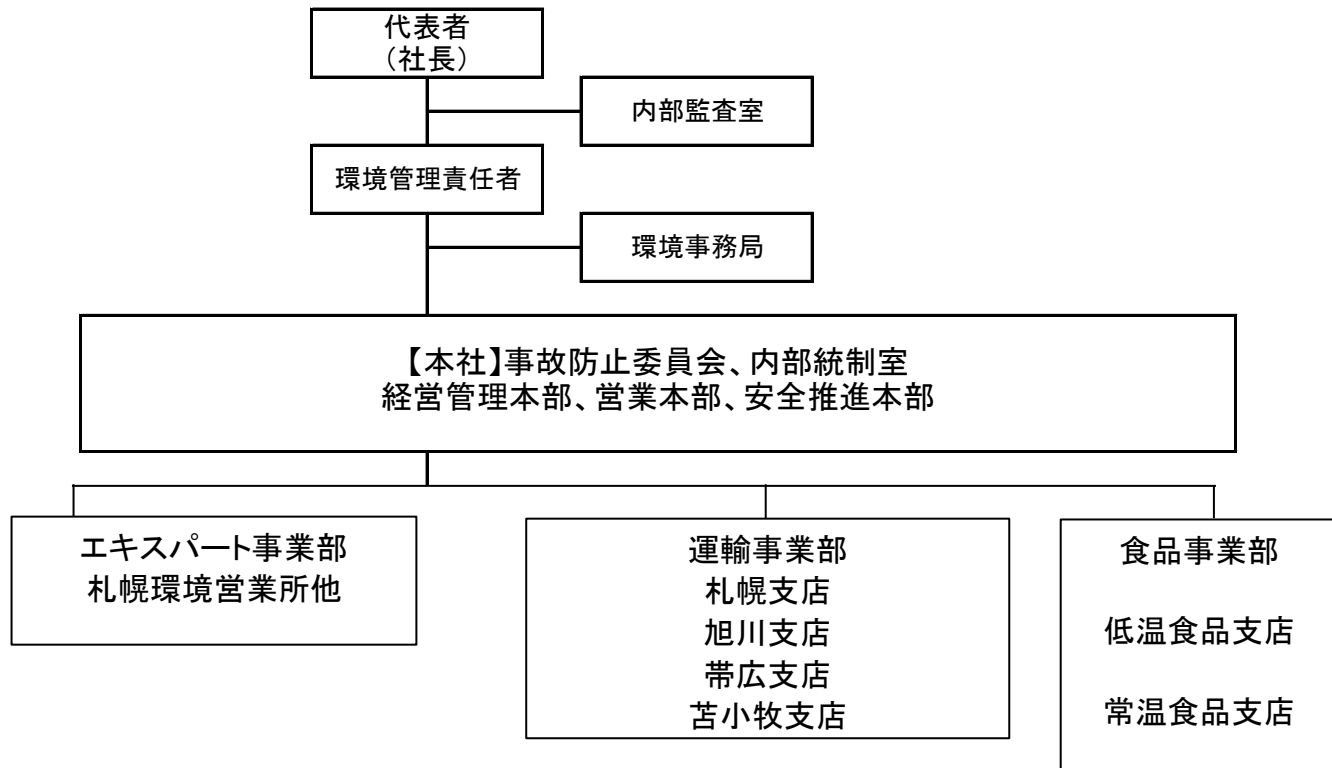
保管場所No.	保管の種類	面積 単位: ㎡	保管上限	保管状態
札幌環境営業所				
1	廃プラスチック類	8.4	2945.6kg	屋内保管
2	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃OA機器)	8.4	203.35kg	屋内保管
3	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃医療機器)	8.4	2135kg	屋内保管
4	金属くず	8.4	467.39kg	屋内保管
5	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	8.4	79.45kg	屋内保管
6	廃油	8.4	56.7L	容器保管
7	廃酸	8.4	17.5L	容器保管
8	廃アルカリ	8.4	11.9L	容器保管
9	汚泥	8.4	78.96kg	容器保管
10	汚泥、金属くず(廃乾電池)	8.4	24.5kg	容器保管
旭川営業所No.1	燃え殻	2.6	0.22㎡	容器保管
2	汚泥	2.6	0.04㎡	容器保管
3	廃油	1.02	100L	容器保管
4	廃酸	2.6	96L	容器保管
5	廃アルカリ	2.6	120L	容器保管
6	廃プラスチック類	3.76	5.14㎡	屋内保管
7	金属くず	7.0	0.4㎡	屋内保管
8	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	2.48	0.33㎡	屋内保管
9	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	2.6	0.13㎡	屋内保管
10	紙くず	3.76	2.33㎡	屋内保管
稚内営業所No.1	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃OA機器)	1.08	210kg	屋内保管
2	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃医療機器)	1.08	420kg	屋内保管
3	廃酸	1.08	65kg	容器保管
4	廃アルカリ	1.08	35kg	容器保管
美幌営業所No.1	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃OA機器)	1.34	210kg	屋内保管
2	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃医療機器)	1.34	420kg	屋内保管
3	廃酸	1.34	35kg	容器保管
4	廃アルカリ	1.34	35kg	容器保管
5	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃OA機器)	1.44	4,200kg	屋内保管
釧路営業所No.1	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃OA機器)	1.34	210kg	屋内保管
2	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃医療機器)	1.34	420kg	屋内保管
3	廃プラスチック類	1.34	22kg	屋内保管
帯広営業所No.1	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃OA機器)	1.34	210kg	屋内保管
2	廃油	1.34	140kg	容器保管
3	廃酸	1.34	35kg	容器保管
4	廃アルカリ	1.34	35kg	容器保管
5	汚泥	1.34	31kg	容器保管
6	燃え殻	1.34	326kg	容器保管
7	紙くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボード)	16.2	700kg	屋内保管

3 収集運搬 特別管理産業廃棄物積み替え保管場所一覧

保管場所No. 札幌環境営業所	保管の種類	面積 単位: m ²	保管上限	保管状態
1	廃酸(pH2.0以下のもの。廃バッテリーを含む)	180	180.0m ³	容器保管
2	特定有害産業廃棄物(廃酸)	8.0	126.0L	容器保管
3	特定有害産業廃棄物(汚泥)	8.0	1m ³	容器保管
4	特定有害産業廃棄物(廃アルカリ)	8.0	40.0L	容器保管
5	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類。) 特定有害産業廃棄物(廃油)	8	72.0L	容器保管
6	廃アルカリ(pH12.5以上のもの。廃バッテリーを含む)	28.0	38.0m ³	容器保管
7	感染性産業廃棄物	8.0	14.0m ³	容器保管
8	感染性産業廃棄物	8.0	14.0m ³	容器保管
9	廃水銀等	8.0	7.8L	容器保管
旭川営業所No.1	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類。)	1.02	100L	容器保管
2	廃酸(pH2.0以下のもの)。	35.75	18.3m ³	容器保管
3	廃アルカリ(pH12.5以上のもの)。	1.02	10L	容器保管
4	感染性産業廃棄物	2.8	1,378L	容器保管
5	汚泥(水銀又はその化合物、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒)	1.02	0.11m ³	容器保管
6	廃酸(水銀又はその化合物、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒)	1.02	10L	容器保管
7	廃アルカリ(水銀又はその化合物、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物)	1.02	70L	容器保管
稚内営業所No.1	廃酸(pH2.0以下のもの。廃バッテリーを含む)。	5.04	7.2m ³	容器保管
2	廃アルカリ(pH12.5以上のもの。廃バッテリーを含む)。	1.68	2.0m ³	容器保管
3	感染性産業廃棄物	8.874	7.0m ³	容器保管
4	特定有害産業廃棄物(汚泥)	1.08	126.0L	容器保管
5	特定有害産業廃棄物(廃アルカリ)	1.08	20.0L	容器保管
美幌営業所No.1	廃酸(pH2.0以下のもの。廃バッテリーを含む)。	8.0	8.4m ³	容器保管
2	廃アルカリ(pH12.5以上のもの。廃バッテリーを含む)。	2.0	1.0m ³	容器保管
釧路営業所No.1	廃酸(pH2.0以下のもの。廃バッテリーを含む)。	8.0	8.4m ³	容器保管
2	廃アルカリ(pH12.5以上のもの。廃バッテリーを含む)。	2.0	1.0m ³	容器保管
3	感染性産業廃棄物	8.0	7.0m ³	容器保管
4	特定有害産業廃棄物(汚泥)	1.0	54.0L	容器保管
5	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類。) 特定有害産業廃棄物(廃油)	2.0	396.0L	容器保管
帯広営業所1	廃酸(pH2.0以下のもの。廃バッテリーを含む)	8.0	8.4m ³	容器保管
2	廃アルカリ(pH12.5以上のもの。廃バッテリーを含む)	2.0	1.0m ³	容器保管
3	感染性産業廃棄物	8.0	7.0m ³	容器保管
4	特定有害産業廃棄物(汚泥)	1.0	54.0L	容器保管
苫小牧営業所No.1	廃酸(pH2.0以下のもの。廃バッテリーを含む)	134.0	192.0m ³	容器保管
2	廃アルカリ(pH12.5以上のもの。廃バッテリーを含む)	13.0	16.0m ³	容器保管
室蘭営業所No.1	廃酸(pH2.0以下のもの。廃バッテリーを含む)	5.2	8.4m ³	容器保管
2	廃アルカリ(pH12.5以上のもの。廃バッテリーを含む)	1.1	1.0m ³	容器保管

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2019年4月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長) 向出 敏行 (エコアクション21 推進責任者 エキスパート事業部長 大戸 英樹)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 エキスパート事業部 次長 遣田 尚	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長 (支店長・営業所長)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム (内部監査室)	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	29,207,089	31,598,604	33,004,150
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	157,236	109,557	278,230
産業廃棄物排出量	kg	17,696	77,084	81,082
総排水量	m ³	26,183	27,038	26,555

※二酸化炭素排出係数 0.678 kg-CO₂/kWh 北海道電力の調整後の係数(H29)

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2020年		評価	2021年 (目標)	2022年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	6,205,828	6,081,711	6,249,672	×	6,019,653	5,957,595
	基準年度比	2017年	98%	101%		97%	96%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	184,265	182,422	189,887	×	1,805.80	178,737.05
	基準年度比	2017年	99%	103%		97%	96%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	574,593	563,101	241,475	○	557,355	551,609
	基準年度比	2017年	98%	42%		97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	22,042,908	21,602,050	26,323,116	×	21,381,621	21,161,192
	基準年度比	2017年	98%	119%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	29,007,594	28,429,284	33,004,150		27,960,435	27,849,133
一般廃棄物の削減	kg	112,817	110,561	278,230	×	109,433	108,305
	基準年度比	2017年	98%	247%		97%	96%
産業廃棄物の削減	kg	29,253	28,668	81,082	×	28,376	28,083
	基準年度比	2017年	98%	277%		97%	96%
水道水の削減	m ³	30,798	30,182	26,555	○	29,874	29,566
	基準年度比	2017年	98%	86%		97%	96%
化学物質適正管理							
	(使用はしていない) 産業廃棄物収集運搬、積み替え保管に関して適正管理する						
環境に配慮した物品の (オフィス用品G購入率)		適宜実施					
環境に配慮した生産活動		行動目標(次項による)					

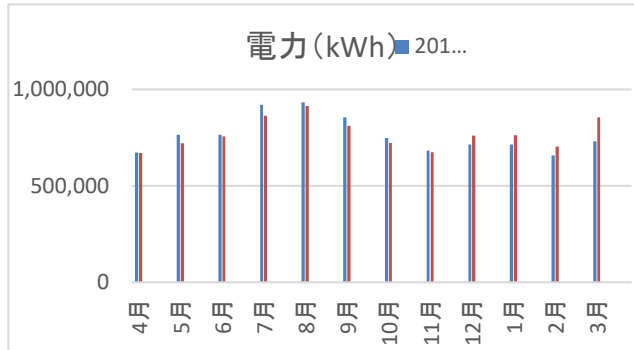
※本社のエネルギー使用量については、エア・ウォーター株式会社の管理ビルにつき把握できず含まれていません。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	累計評価では0.7%基準年実績を上回り、2%削減目標は未達成。冬期間に達成していません。次年度も継続して活動し、環境経営目標達成に努めます。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯及び適切な照度を保つ	○	
・OA機器は使用時のみ電源を入れる	○	
・室内照明は、可能な限り自然光を取り入れ	○	
・機器の整備・点検・清掃	○	

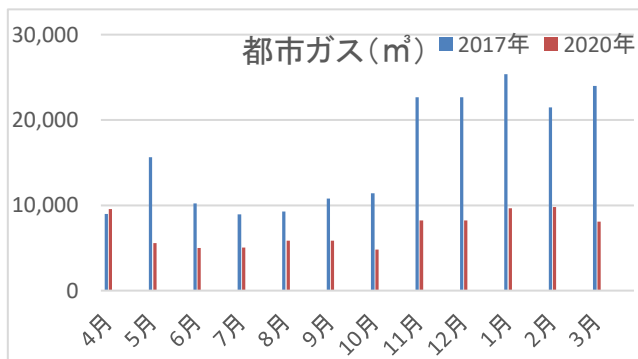


取組紹介欄 節電啓発ポスター・表示 エアコンの温度設定



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017年	671,429	764,902	764,624	920,785	931,913	855,015	747,609	683,249	714,863	714,863	658,142	731,812
2020年	670,057	721,540	756,812	863,529	914,725	811,946	723,259	675,343	760,660	762,509	703,257	854,169

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	累積評価で達成しており、苫小牧営業所、白石営業所、釧路営業所の新社屋建替えや温度管理が必要な食品倉庫の温度管理機器も設備の老朽化に伴う入れ替えを随時実施している効果と推測します。次年度も継続して活動します。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・ウォームビズの推進	○	
・温水温度の適正化	○	
・機器の整備・点検・清掃	○	

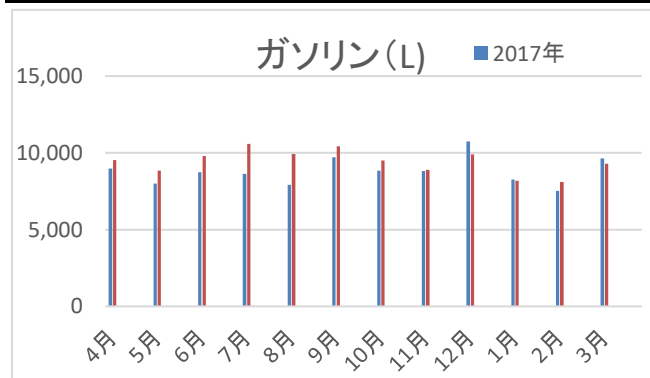


取組紹介欄 各室の温度制御



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017年	8,973	15,616	10,208	8,959	9,291	10,794	11,412	22,648	22,648	25,362	21,472	23,967
2020年	9,533	5,564	5,014	5,049	5,851	5,867	4,805	8,227	8,227	9,637	9,809	8,076

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	通年で未達成でした。各営業所ごとの業務内容と燃料消費量の推移など、実態を把握する必要があります。次年度も継続して活動し、環境経営目標達成に努めます。
・エコドライブの徹底に努める	○	
・効率的なルートで輸送	○	
・環境意識の向上に努める	○	

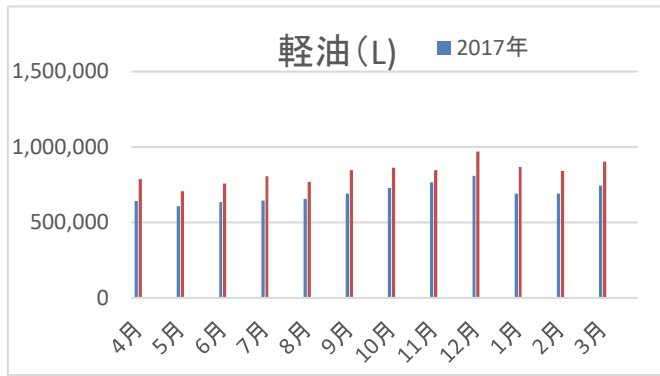


取組紹介欄

エコドライブ 啓発ポスター



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017年	8,973	8,006	8,744	8,633	7,915	9,709	8,836	8,827	10,734	8,249	7,522	9,646
2020年	9,533	8,851	9,783	10,590	9,912	10,421	9,497	8,888	9,895	8,188	8,099	9,296

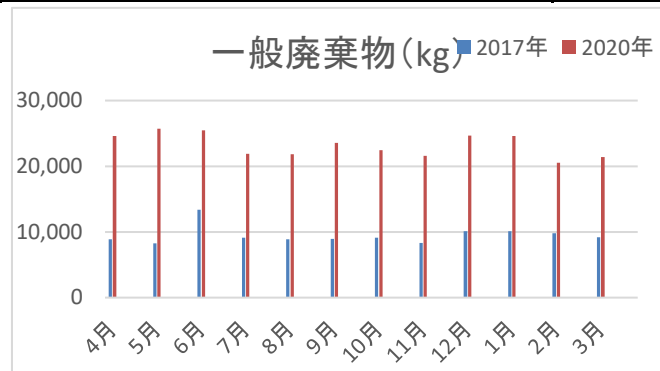


取組紹介欄

エコドライブ
啓発ポスター



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017年	642,155	606,912	633,858	645,102	657,289	691,689	728,035	765,463	808,419	690,708	690,368	745,822
2020年	787,129	706,769	756,827	805,825	769,442	847,162	863,601	847,162	971,371	868,633	842,534	902,795
一般廃棄物の削減						達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容					
数値目標						×	未達成でしたが、石狩ガス営業所や千歳物流センターなど営業所の増加と、従業員の増加に伴う一般廃棄物の増加が一因と推測します。次年度も継続して活動し、環境経営目標達成に努めます。					
・分別の徹底						○						
・シュレッダー廃紙のリサイクル化						○						
・帳票見直しによる印刷物の削減						○						
・梱包材の再利用						○						



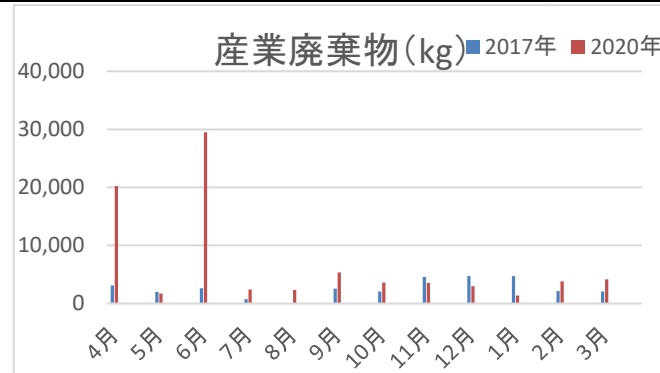
取組紹介欄

分別の徹底



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017年	8,904	8,285	13,359	9,124	8,904	8,916	9,131	8,312	10,106	10,106	9,830	9,207
2020年	24,590	25,685	25,442	21,863	21,834	23,576	22,472	21,583	24,670	24,592	20,545	21,378

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	未達成だったが、区域部門において大きな拠点である苫小牧支店は、保管や運搬の際に使用する木製パレットやプラスチック製パレットを大量に保有しており、老朽化および一部破損しているパレット、不要なパレットや廃タイヤなどを計画処分するため特定の月で突出して増加しており、全体として目標を達成していないと推測します。次年度も継続して活動し、環境経営目標達成に努めます。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・可能な限りリサイクルに努める	○	

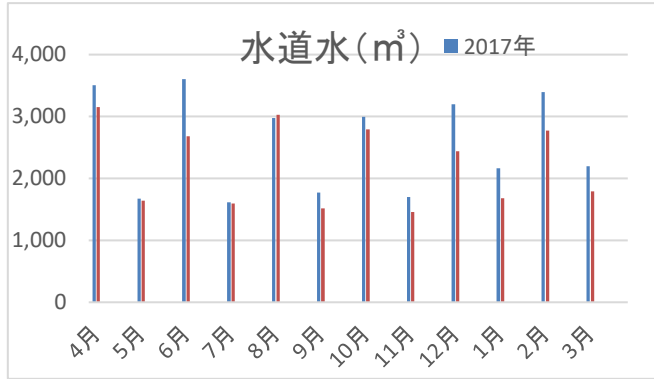


取組紹介欄

・産業廃棄物処理要領～グループ会社共通の排出要領

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017年	3,114	2,037	2,614	744	59	2,581	2,083	4,612	4,735	4,735	2,174	2,074
2020年	20,220	1,736	29,462	2,419	2,332	5,388	3,632	3,539	2,972	1,383	3,851	4,149

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	エア・ウォーターグループ内におけるSDGs活動の推進効果が一因と考えられます。次年度も継続して活動します。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	○	
・蛇口は全開しない	○	
・洗車時も節水に努める	○	



取組紹介欄

節水シールによる啓発



雪冷蔵システムの活用



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017年	3,504	1,672	3,604	1,616	2,977	1,772	2,998	1,698	3,200	2,167	3,395	2,195
2020年	3,154	1,642	2,683	1,598	3,026	1,518	2,794	1,459	2,436	1,679	2,773	1,794

化学物質適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	—	使用、取り扱いはありませんが、産業廃棄物収集運搬業務に関して適正処理に努めます。次年度も継続して活動します。
・産業廃棄物の取り扱いに際して、適正に	○	
・産業廃棄物を適性に保管する	○	

取組紹介欄

・産業廃棄物取扱作業手順～産業廃棄物収集運搬 (エキスパート事業部に適用)

環境に配慮した物品の購入	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	—	次年度も継続してエネルギーの合理化に努めます。
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・燃費のよい自動車の採用	○	
・事務用品グリーン購入比率向上	○	

取組紹介欄

雪冷蔵システム
冬季に搬入した雪



環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	—	次年度も継続して環境に配慮した生産活動に努めます。
・不良率低減	○	
・稼働率向上	○	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄率削減	○	

取組紹介欄

環境意識啓発ポスター



営業所に配備の血液配送恒温車



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される主な法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
行動規範	経営理念、行動指針、安全方針	遵守確認
運輸安全マネジメント	貨物自動車運送事業に関する許可証、届け出、表示、安全管理	遵守確認
労働安全衛生法	労働安全衛生の推進、協定の届け出、定期点検	遵守確認
消防法	自家用軽油スタンド、地下タンク点検、施設の定期点検	遵守確認
高圧ガス保安法	高圧ガス製造許可書（一般・液石）、保安統括者、保安係員	遵守確認
LP法保安機関	保安機関認定書、保安業務規程、設備点検状況	遵守確認
廃棄物処理法	許可証、処理実績の報告、表示・携行業務用品、消火器	遵守確認
	産廃排出。委託契約、収集運搬・処理基準・運搬車両・保安施設	遵守確認
倉庫業	倉庫業登録証、委託約款、1類、2類、3類倉庫業	遵守確認
警備業法	認定書、届け出、服装届け出、警備員指導教育責任者	遵守確認
建設業法	建設業許可通知書、経營業務管理責任者、責任技術者	遵守確認
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	遵守確認
フロン排出抑制法	使用済み業務用機器のフロン回収事業者への引き渡し、定期点検	遵守確認
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者への引き渡し	遵守確認
水質汚濁防止法	特定施設の設置届、油漏れした場合の公共水域への流出の届け出	遵守確認
大気汚染防止法	車両排ガスの基準順守	遵守確認
省エネ法	エネルギー管理統括者等の選任、使用量の報告	遵守確認
下水道法	下水道の受け入れ基準	遵守確認
北海道循環型社会形成推進に関する条例	産廃の委託先の調査・記録	遵守確認
地方条例	地球温暖化対策計画書・報告書	遵守確認
顧客要求事項	品質管理	遵守確認

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

全29営業所について、支店を通じて2019年度の環境上の苦情・要請等について確認したところ、適正に対応しており、特に問題ない報告を受けている。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2021年4月28日

【前回の指示への取組結果】

「全社で自動車燃料によるCO2排出量が12.3%（基準値比）増加しており、実数で7%以上増加している9営業所では削減への工夫が必要である。」としていましたが、実績を踏まえての見直しに関しては、現在継続して検討しているところです。

1.【環境経営方針】

従来と変わらないが、エア・ウォーターグループの経営理念、環境基本方針に基づいた環境管理体制にあり、本環境経営レポートについても明確にしています。

2.【環境関連法規のとりまとめ】

業務監査に伴う安全・安心チェックリスト及びエア・ウォーターグループの環境管理基準によっています。

※エキスパート事業部には、様式:5-01環境関連法規制等とりまとめ表（遵守評価記録）を適用します。

3.【環境経営目標・計画】

全社の自動車燃料によるCO2排出量は、環境経営目標を19.4%上回っています。実績を踏まえた見直しを検討する必要があります。

※事業の拡大を鑑みて、今後は車両台数毎のデータ集計を検討していきます。

4.【実施体制】

変更なし、ただし各営業所の責任者は経営計画書に記載の通りです。

5.【文書及び記録】

エコアクション21ガイドラインの2017年版に当社事業の大部分である運輸・倉庫業は準拠しています。

次年度の対応は、以下のとおりです。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり